**会員の皆様本日は、お集まりいただき有難うございます。**

只今、選出されました理事者と協議いたしまして、次期会長に私が指名、決定されましたことをご報告させていただきます。

今後の会務についてお話させていただきます

本年度は３月の臨時総会において承認されました事業計画にそつて事業を遂行させていただきますが来年の６月１１，１２日に北海道歯科医師野球大会が岩見沢歯科医師会主管で開催されます。

その準備に理事者が中心となりおこなわなければなり多忙な１年となりますので少し事業を簡素化させていただきます。合同で出来る事業は合同で、数回ある事業は回数を減らすことも検討させていただきたいと考えていますので会員皆さんのご理解宜しくお願いいたします。また、野球大会への御協力もぜひともおねがいいたします。

新たな事業として２年間、道の助成金にて行つて多職種連携事業を会として行つて行きます。今なぜ、多職種連携と言われてるのかと申しますと、今、日本は諸外国にれいを見ないスピードで高齢化が進んでますこの状況の中、団塊の世代８００万人が７５歳以上となる平成３７年は医療や介護の需要が増加することが見込まれています。国は平成３７年のめどに住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後までつずけるけることができるよう医療、介護、予防、生活支援などが一体化し提供される地域ケアシステムの完成を目指してます、その第一歩として顔の見える関係ずくりを目指してます会としても国の施策に乗り遅れないよう連携事業をおこなつて行きたいと思います。

２年目の２８年度は将来の岩歯を考えた会務を行つて行きたいと思います。

９０数名いる会員の中、年齢では、私の上に６０名の先生、下の年齢の先生は３０名となつています。理事者は、私より年齢が若い方がほとんどです

又、終身会員の推移において、１０年後には３０パーセント、２０年後には４５パーセントの方が終身会員と予想され、このままでは会費収入の減少、会を運営してくれる人材不足が考えられます。そのため現在は１７名の理事者ですが１１，１２名程度の理事で会を執行出来るように若い会員が参加しやすい環境作りをかんがえていきたいとおもいます。

今後２年間、会員の皆様のご理解と御協力をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

**鍵谷会長退任挨拶要旨**

本日通算９年にわたる会長の任期を大過なく終えることができまして、多くの先生方に大変感謝しています。若い先生方にはより積極的に会務に参加していただき、より一層の発展を祈念しております。今般の厳しい状況の中で私たちが抱える問題は山積し、これから私たちの会も終身会員の割合が増えていきますが、今こそ岩歯一丸となって次期執行部へのご協力をお願いしたいと思います。私も少し疲れましたのでしばらくは休養させていただきますが、後にまた一会員として協力させて頂きます。本日は本当にありがとうございました。

倉増新会長から、今後２年間の三つの基本方針が述べられた。その一つは来年６月に開催される第６７回歯科医師全道野球大会を成功に導くために、会員へのサービスの低下なく会務運営の合理化を図る。二つ目には、多職種連携の推進し「地域ケアシステム」の構築の一翼を担う。三つ目には、若い世代に繋げるような会務運営にあたる。この３本の柱を持って皆様と共に岩歯の繁栄に尽くしたいとの挨拶があった。

鍵谷前会長から、倉増新執行部をみると５０歳代以下の役員がほとんどである。岩歯の世代交代とも言えるが、若い先生方の会への参加が少ないのが現状であると言うことが否めない。倉増執行部には、若い先生方が活躍できるような場を多く持てるよう期待し、私も一会員として応援して行く。との退任に当たっての挨拶があった。